



新刊!!

## ITText メディア学概論

山口治男 著  
A5判/172頁/本体2,400円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピュータ

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・  
岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著  
A5判/176頁/本体2,200円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報とネットワーク社会

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・  
佐々木整・湯瀬裕昭 共著  
A5判/192頁/本体2,200円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報と社会

駒谷昇一 編著  
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報システム基礎

神沼靖子 編著  
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピューティング

河村一樹 編著  
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

## ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著

A5判/212頁/本体2,800円(税別)

## ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・  
向井信彦 共著

A5判/280頁/本体3,000円(税別)

## ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著

A5判/216頁/本体2,500円(税別)

## ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巳・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著

A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

## ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著

A5判/226頁/本体2,800円(税別)

## ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著

A5判/240頁/本体2,800円(税別)

## ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著

A5判/240頁/本体2,800円(税別)

## ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著

A5判/196頁/本体2,500円(税別)

## ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著

A5判/228頁/本体2,800円(税別)

## ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著

A5判/248頁/本体2,800円(税別)

## ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著

A5判/200頁/本体2,500円(税別)

## ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著

A5判/236頁/本体2,800円(税別)

## ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著

A5判/292頁/本体3,200円(税別)

## ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著

A5判/192頁/本体2,500円(税別)

## ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著

A5判/210頁/本体2,500円(税別)

## ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著

A5判/248頁/本体2,800円(税別)

## ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二朗・張 漢明 共著

A5判/210頁/本体2,800円(税別)

## ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰巳丈夫・楠元範明 共著

A5判/232頁/本体2,500円(税別)

## ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著

A5判/242頁/本体2,800円(税別)

## ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著

A5判/224頁/本体2,800円(税別)

## ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著

A5判/200頁/本体2,500円(税別)

## ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著

A5判/232頁/本体2,800円(税別)

## ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著

A5判/280頁/本体3,000円(税別)

## ITText 分散処理

谷口秀夫 編著

A5判/240頁/本体2,800円(税別)

## ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著

A5判/224頁/本体2,500円(税別)

## ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著

A5判/272頁/本体2,800円(税別)

## ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著

A5判/280頁/本体3,000円(税別)

## ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著

A5判/242頁/本体2,800円(税別)

## ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・  
大見嘉弘 共著

A5判/234頁/本体2,500円(税別)

## ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・  
八木康史 共著

A5判/258頁/本体2,800円(税別)

## ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・岩田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著

A5判/248頁/本体2,800円(税別)

## ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著

A5判/208頁/本体2,600円(税別)

## ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著

A5判/280頁/本体2,800円(税別)

## ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著

A5判/222頁/本体2,800円(税別)

## ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著

A5判/246頁/本体2,800円(税別)

## ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著

A5判/264頁/本体2,800円(税別)

## ITText 離散数学

松原良太・大島彰昇・藤田慎也・小関健太・  
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著

A5判/256頁/本体2,800円(税別)

## ITText 一般教育シリーズ 情報ネットワーク

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著

A5判/160頁/本体2,300円(税別)

お申し込みは

 **オーム社**

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1  
TEL 03(3233) 0641 FAX 03(3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>  
本体価格(税別)は変更する場合があります。

CONTENTS

Preface

Count Our Blessings  
C. W. Nicol (The C. W. Nicol Afan Woodland Trust)

Special Features

*The Present and Future of CGM : The World Opened up by Hatsune Miku, Nico Nico Douga and PIAPRO*

- 464 0. Foreword  
Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)) and Hiroshi G. OKUNO (Kyoto Univ.)
- 466 1. The CGM Movement Opened up by Hatsune Miku, Nico Nico Douga and PIAPRO  
Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 472 2. Singing Synthesis - Its Past, Present and Future  
Hideki KENMOCHI (Yamaha Corp.)
- 477 3. Hatsune Miku as an interface  
Hiroyuki ITOH (Crypton Future Media, Inc.)
- 483 4. Creativity of Nico Nico Douga : Five Years of a Video Sharing Community Website  
Akihiko KOIZUKA (DWWANGO Co., Ltd.)
- 489 5. Focus on The Specificity of Nico Nico Douga : "Pseudo Synchronism", "N-th Order Derivative Creation", "Fluxonomy"  
Satoshi HAMANO (Nihon Gigei, Inc.)

Articles

- 496 Reversible Computing - Can We Construct a Computer Out of Billiard Balls? -  
Kenichi MORITA (Hiroshima Univ.)
- 504 Succinct Data Structure  
Daisuke OKANOHARA (Preferred Infrastructure Inc.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 495 Preservation of Information Processing Technology Heritage  
Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

- 513 Education of Information Itself and Information Technology  
Eiichi YONEDA
- 514 PBL at Information Architecture in AIIT  
Kiyoshi SAKAMORI (Advanced Institute of Industrial Technology)
- 519 Introduction of the Object-oriented Technical Education Utilizing Open Source in Professional Graduate School  
Noriko ETANI (Kobe Institute of Computing)
- 524 In Visit of Kobo-daishi (4) - Your Eyes to 10000 Volts  
Toshihiko KOTOH (Reliability Engineering Association of Japan)

Series : Shigeki Hosokawa Smartphone Apps Development Project

- 526 Wishing to Become a de Facto Standard Application Originated from IPSJ  
Hideyuki NAKASHIMA (Future Univ. Hakodate)

Column : "I" Report

- 528 ACM CoNEXT 2011 Report  
Kenjiro CHO (II Innovation Institute, Inc.)

503 Book Review



協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。  
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。  
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)  
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。  
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書 (正会員) ([https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai\\_sei.html](https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html)) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



【特集：インタラクションの理解および基盤・応用技術】

- 特集「インタラクションの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって 市村 哲
- 容積脈波を取得可能な面センシング手法の実装と評価\* 千明 裕 他
- インタラクティブ遊具を用いた遊び行動と発達の分析\* 井上美喜子 他
- 人間とロボットのインタラクションを利用した指示物体認識性能の向上 飯尾尊優 他
- 音声生成を前提としたテキストレベルでのキャラクタ付与 沈 睿 他
- 姿を利用したファッションコーディネート支援システム su GATALOG の提案と評価 佐藤彩夏 他
- ICT 機器のスムーズな利用開始を実現する人工物デザイン指針 中根 愛 他
- Peaflet：ミュージアムにおける鑑賞体験を反映した個人別リーフレット ソン ヨンア 他
- 交通系 IC カードを用いた公共空間でのインタラクション：パブリックアートを通じた実証実験 西村邦裕 他
- Stop Motion Goggle：高速液晶シャッターを用いた視知覚の拡張 永谷直久 他
- Peripheral Vision Annotation: 拡張現実感環境のための視線計測による周辺視野領域情報提示手法 石黒祥生 他
- 指先の 3 次元姿勢を検出する 3 次元マルチタッチ Z-touch 竹岡義樹 他
- 地上と地下街を含むパノラマビューでの階層関係把握手法の評価 安部陽平 他
- 下肢運動状態の認知を支援する着用型発光センサスーツ 五十嵐直人 他
- Activity Recognition Using Radio Doppler Effect for Human Monitoring Service Masatoshi Sekine 他
- 前庭感覚電気刺激により生じられる主観的視野運動の計測 永谷直久 他
- 共有ブロックを用いた実物体共有対称型遠隔地作業支援システムの実現と評価 佐藤 究 他
- 人の移動の表現方法：ズームカメラと移動ディスプレイによる社会的テレプレゼンスの向上 田中一晶 他

- Integrating Wearable Sensor Technology into Project-Management Process Koji Ara

【一般論文】

- Max-Shift BM and Max-Shift Horspool: Practical Fast Exact String Matching Algorithms Mohammed Sahli 他
- Efficient Shape Recognition of Dynamic Event Regions using Wireless Sensor Networks Satoshi Fujita 他
- Lower Bound of Face Guards of Polyhedral Terrains† Chuzo Iwamoto 他
- ハードウェアアクセラレータを用いた組込み機器向け Web ブラウザの動作性能改善 井口慎也 他
- A Tag-Based Scheme to Realize Real-Time File Search in Hierarchical Peer-to-Peer Systems Ting Ting Qin 他
- Development and Evaluation of Ecotourism Support System using One-seg Broadcasting with Mobile Networks† Kotaro Ishitani 他
- Provably-Secure Cancelable Biometrics Using 2-DNF Evaluation\* Mitsuhiro Hattori 他
- 極座標を用いた 3DMIDI の実装と評価\* 黒岩 謙 他
- 矩形の読み出し領域を生成する光空間信号の変調方法の研究† 光藤雄一
- 行動計測・知識外化技術による実世界学習の場の空間特性の抽出手法 岡田昌也 他
- 要求獲得におけるステークホルダの偏りと不足を検出する可視化ツール\* 鶴飼孝典 他
- 貢献への気づきを反映した議論支援インタフェース 林 佑樹 他
- 日本語の発話映像における初口形の検出方法提案\* 宮崎 剛 他
- 環境行動促進システム“エコまめ”の提案と地域コミュニティへの適用\* 田仲理恵 他

\*：推薦論文 Recommended Paper

†：テクニカルノート Technical Note



# 会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「大きな社会システムのアーキテクチャ再構築」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■情報の専門家でない方からの提案だが、まったく同感でいところを突いておられると思った。(匿名希望)

連載「細川茂樹アプリ開発プロジェクト：第1回プロジェクト始動」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■俳優の細川さんがアプリ開発？という意外性に興味を引かれる。(匿名希望)

特集「ゲーム情報学」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■1月14日に米長永世棋聖がボンクラーズに負けたとのニュースを見た後に、本誌を読んだこともあり興味を持って読むことができました。(匿名希望)

■専門家ではないが、図表も分かりやすく、読みやすい文章であったと思う。業界の先端話ではなく、今回のような世間の話の最先端を常に取り上げてほしい。(匿名希望)

■好奇心を満足させるのに十分な内容とレベルでした。各々の記事は分量は少ないですが色々なテーマを読む方が楽しいです。(五味 弘)

■せっかくゲームを話題に取り上げたのだから、有名ゲームメーカーに代表となるゲームの開発話などを寄稿してもらおうと、より興味を持たせたいと思う。(平林健二)

## 「不完全情報ゲーム」

■テーマとしては面白いし、「大貧民」に関しては、視覚的にも見える感じでアルゴリズムの流れを理解させようとされておられるのに好感を持たれた。(匿名希望)

## 「ギャンブルの情報学」

■ギャンブルも各々はとらえ方によっては、研究対象として意味を持ちます。そこで、株価予測など各種のアルゴリズム技法を駆使してやっておられる方々も多いので、そのような事例も紹介があればよかった。(匿名希望)

■ゲームそのものを科学的に取り扱おうとするだけでなく、

人間の心理をおりまぜて書かれていて、とても興味深く読ませていただきました。また、ギャンブルは社会的に「悪いこと」ととられかねないと思いますが、実際に読むとそのようなことを感じさせない記事に感じました。(匿名希望)

## 「コンピュータ囲碁の現状」

■本記事は非常に素晴らしいと思う。情報処理学会の会誌なのだから、単にどのチームが勝った負けたということではなく、このようなアルゴリズム面などの基本的技法を総括していただくと、読者には非常に有益だと思う。(匿名希望)

## 「デジタルゲームにおける"AI"の役割」

■AIの技術的な説明が欲しかった。(匿名希望)

■ゲームにおけるAIの可否に関して遠藤氏の知見がまとめられていてよかった。プレイヤーが感じる楽しさもゲームの出来を判断する要素になるという事実は、その他の製品開発にも活かしていけないだろうかと感じました。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：コンピュータとともに半世紀 見果てぬ夢『知能情報メディア環境の構築』」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■著者が「知能情報メディア」と呼んでおられる道具の発展が、産業革命以降の大変化の引き金になっているとの指摘はもっともだと思う。ゆっくりシニアと語る場の設定という意味では面白いと言える。(匿名希望)

解説「Imagine Cup チャレンジ —後編：上位獲得への道しるべ—」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■学生が応募する場合には、準備があまりにも広範囲に及びすぎる気がする。また、プレゼンテーションでの評価の方法は、画一的なプレゼンテーションに若者をおしこめるのではないだろうかと危惧する。(匿名希望)

解説「対話で教えるコンピュータアーキテクチャ」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■アーキテクチャの教育は、ICT技術者をめざす学生には大変重要だと思われる。このような授業が増えることが望まれる。(匿名希望)

■著者が執筆した教科書を使用しているので個人的に興味を持った。(匿名希望)

■メモリマップドI/Oやpdp11といった言葉を見て、レジスタやメモリ等コンピュータの基本構成に直接触れることで抵抗なく理解できた当時を懐かしく回顧しました。(匿名希望)

■対話型の教材設計によって臨機応変に適用できるようにする試みを、興味深く感じました。詳細まで記述しない方が良い場合もある、というのは人間ならではの方法論だと感じたからです。(匿名希望)

■電子教科書の一部として、コラム的な取り扱いとしたり、

マンガやビデオを使ったり、ハイパーリンクで詳細な説明をするなどの形で対話型教材ができれば面白いかと思いました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：コラム：各大学のシラバスを比較してみると」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■いきなり「シラバス」と言っても、これだから、「情報処理屋」は「宇宙人」と言われるのでは？ (匿名希望)

■教育内容の充実が叫ばれている昨今、とても参考になりました。教育については、今後も引き続き重点的かつ継続的に取り上げてほしいと思います。(水野光朗)

教育コーナー「べた語義：考える講義を目指して」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■クイズやミニレポートで学生を活気づけながらの講義の在り方にはまったく同感する。最後のミニクイズの実例ももっともだと思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：JABEEを通じた大学教育の質的保証(後編)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■いろいろのご努力を拝見するのが面白くはあったし、JABEEで必要な数学の範囲を離散数学+確率・統計にした基準改訂などは意味があった。さらに各種の実学体験を加えると、実践的な学生の育成が可能になると思うし、教育改革にも大きな意味を持つことになると思う。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：特別コラム：お大師様を訪ねて(1)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■他人が作ったものを流用するなど、ちょっと著作権違反の

においがする。コンプライアンスが叫ばれる中、一部の文章が不適切な内容に感じる。(匿名希望)

■これを読んで学生の方が書くような場所を作ってはどうかと思いました。著者の学生が次の学生を指名するというのも手順の1つかと思います。(匿名希望)

コラム「"I" 見聞録：NIAT2011/FDTC2011/CHES2011」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■奈良で開催された3つの暗号系国際会議の報告が行われた。各々の会議の内容紹介では、CHES2011での講演テーマの分類・内容を簡単にまとめて紹介されたのが、分かりやすくよかった。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■「会員の広場」は長めの意見が採用されていてよかった。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■モデル検証の技術とその実用性について特集してほしい。(匿名希望)

■たとえば年度の終わりにその年度の各月号の特集でどれがよかったかのアンケートがあれば、その中でまた相对比较ができて、よりよい評価が得られるかと思います。(五味 弘)

【本欄担当 久保 健, 加藤 豪/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱います。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!!



# IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「使うシステムから使えるシステムへ」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IS.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IS.html</a>	4月16日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-DPS.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-DPS.html</a>	5月7日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SE.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SE.html</a>	5月7日(月)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html</a>	5月31日(木)		
	デジタルプラクティス「ビッグデータに備える」特集論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0401s.html">http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0401s.html</a>	6月4日(月)		
	論文誌「危機管理の視点を考慮したインターネットと運用技術」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IOT.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IOT.html</a>	6月18日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-C.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-C.html</a>	6月20日(水)		
	論文誌「音楽情報処理の新展開(音楽情報科学研究会20周年記念特集)」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MUS.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MUS.html</a>	7月2日(月)		
	論文誌「パズルの数理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-PUZ.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-PUZ.html</a>	7月31日(火)		
5月7日(月)～ 5月8日(火)	第192回計算機アーキテクチャ・第121回システムソフトウェアとオペレーティング・システム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc192os121.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc192os121.html</a>	3月12日(月)	当日のみ	サンマリーナホテル
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第57回コンピュータセキュリティ・第17回インターネットと運用技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec57iot17.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec57iot17.html</a>	3月12日(月)	当日のみ	秋田大学 手形キャンパス
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第4回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds4.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds4.html</a>	3月19日(月)	当日のみ	東北大学電気通信 研究所
5月10日(木)～ 5月11日(金)	第206回自然言語処理・第91回音声言語情報処理合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl206slp91.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl206slp91.html</a>	3月19日(月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月14日(月)	第140回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al140.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al140.html</a>	3月14日(水)	当日のみ	愛媛大学
5月14日(月)	東海支部特別講演「日本再生に求められること」 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>			ルブラ王山 (愛知県名古屋市)
5月16日(水)	第56回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip56.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip56.html</a>	3月7日(水)	当日のみ	国立情報学研究所
5月16日(水)～ 5月18日(金)	先進的計算基盤システムシンポジウム(SACSIS2012) <a href="http://sacsis.hpcc.jp/">http://sacsis.hpcc.jp/</a>			神戸国際会議場
5月17日(木)	第88回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps88.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps88.html</a>	3月22日(木)	当日のみ	名古屋大学ベンチャー ビジネスラボラトリー
5月17日(木)～ 5月18日(金)	第84回グループウェアとネットワークサービス・ 第3回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn84spt3.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn84spt3.html</a>	3月9日(金)	当日のみ	千葉工業大学 or 千葉 大学 or NTT横須賀の いずれか(未定)
5月17日(木)～ 5月18日(金)	第34回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi34.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi34.html</a>	3月19日(月)	当日のみ	豊橋技術科学大学
5月21日(月)～ 5月22日(火)	第176回ソフトウェア工学・第25回組込みシステム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se176emb25.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se176emb25.html</a>	3月30日(金)	当日のみ	早稲田大学
5月21日(月)～ 5月22日(火)	第151回マルチメディア通信と分散処理・ 第62回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps151mbl62.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps151mbl62.html</a>	3月11日(日)	当日のみ	沖縄県青年会館
5月23日(水)～ 5月24日(木)	第182回コンピュータービジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim182.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim182.html</a>	3月10日(土)	当日のみ	中京大学
5月23日(水)～ 5月25日(金)	The Sixth International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2012) <a href="http://www.icmu.org/icmu2012/">http://www.icmu.org/icmu2012/</a>			沖縄
5月26日(土)	第94回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch94.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch94.html</a>	3月26日(月)	当日のみ	同志社大学 東京オフィス
5月30日(水)～ 5月31日(木)	第156回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm156.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm156.html</a>	3月12日(月)	当日のみ	北九州国際会議場
6月1日(金)	第134回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc134.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc134.html</a>		当日のみ	電気通信大学 創立80周年記念会館
6月2日(土)～ 6月3日(日)	第95回音楽情報科学発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus95.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus95.html</a>	4月6日(金)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
6月4日(月)	第120回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is120.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is120.html</a>	4月4日(水)	当日のみ	青山学院大学 青山キャンパス
6月21日(木)～ 6月22日(金)	第89回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro89.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro89.html</a>	4月20日(金)	当日のみ	小樽市民センター
6月28日(木)～ 6月29日(金)	第29回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio29.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio29.html</a>	4月13日(金)	当日のみ	沖縄科学技術大学院 大学
7月4日(水)～ 7月6日(金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO2012)シンポジウム <a href="http://www.dicomo.org/2012/cfp.html">http://www.dicomo.org/2012/cfp.html</a>	3月9日(金)		山代温泉ホテル百万石

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月16日(月)～ 7月20日(金)	The 2012 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012) <a href="http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/">http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/</a>			トルコ (イズミール)
8月27日(月)～ 8月29日(水)	CollabTech2012 6th International Conference on Collaboration Technologies <a href="http://www.collabtech.org/">http://www.collabtech.org/</a>			北海道大学国際 交流会館
8月29日(水)～ 8月30日(木)	DA シンポジウム 2012 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2012.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2012.html</a>			下呂温泉 水明館
9月4日(火)～ 9月6日(木)	FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/</a>			法政大学 小金井キャンパス
11月7日(水)～ 11月9日(金)	The Seventh International Workshop on Security (IWSEC2012) <a href="http://www.iwsec.org/">http://www.iwsec.org/</a>			九州大学 西新プラザ
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 <a href="http://www.icpr2012.org/">http://www.icpr2012.org/</a>			つくば国際会議場
<b>2013年</b>				
	東海支部学生研究発表会助成 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>	2月28日(木)		
3月6日(水)～ 3月8日(金)	情報処理学会 第75回全国大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/</a>			東北大学 川内キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.4)
- 3月12日 デジタルプラクティス「ビッグデータに備える」特集論文募集
- 3月6日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 3月5日 論文誌「パズルの数理」特集 論文募集
- 2月28日 [プレスリリース]「震災復興デザインコンテスト」受賞発表
- 2月28日 [プレスリリース] 情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)  
賛助会員 (企業) 31,500 円 ( )  
賛助会員以外の企業 52,500 円 ( )  
\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

**\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

### ■東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門

**募集人員** テニユアトラック准教授 2名  
**専門分野** 情報科学・情報工学, セキュリティ, ソフトウェア工学, 人工知能, 自然言語処理, データマイニング, データベース, ネットワーク, クラウドコンピューティング, その他の関連分野などにおいて, 新しい潮流を創り出し, 未来の情報科学・情報工学を支えかつ先導するような, 先進的・独創的な研究を行える方  
**担当科目** 大学院工学府情報工学専攻および工学部情報工学科における, 上記専門分野に関連した科目の担当および研究指導  
**応募資格** 博士の学位を有すること。博士の学位取得後10年以内であること  
**着任時期** 2012年10月1日, または2012年度内のできるだけ早い時期  
**提出書類** (1)履歴書および研究業績リスト等 (形式自由), (2)主要論文印刷 (5編以内, コピー可), (3)これまでの研究成果の概要 (A4用紙, 1~2枚), (4)本学における研究計画の概要 (A4用紙, 1~2枚), (5)教育に関する抱負 (A4用紙, 1枚), (6)照会可能な方2名の氏名と連絡先  
**応募締切** 2012年5月14日 (必着)  
**送付先/照会先** 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門 教授 金子敬一  
E-mail:k1kaneko@cc.tuat.ac.jp Tel/Fax(042)388-7489 応募書類一式を上記送付先へ簡易書留 \*応募書類は返却しません  
**その他** 応募書類は本選考以外のいかなる目的にも使用しません。書類審査の後, 候補者若干名に対し面接を行います  
詳細は Web ページ (<http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>) をご覧ください

### ■明星大学理工学部総合理工学科電気電子工学系

**募集人員** 准教授または助教 1名  
\*准教授は任期無し。助教は任期3年 (再任1年は2回を限度。選考の結果, 准教授への内部昇進の道がある)  
**専門分野** 電気電子工学関連の交通工学あるいは航空宇宙工学に関する分野  
**担当科目** コンピュータ入門, 情報通信実験 (電気の基礎および電気情報に関連した科目)等  
**応募資格** (1)本学の教育方針に賛同し, 教育に熱意を持った方, (2)学生の対外活動指導に熱意がある方, (3)博士 (工学)あるいは工学博士の学位を有する方 (着任時までに取得も可), (4)産学連携活動に熱意がある方  
**着任時期** 2012年9月1日以降, できるだけ早い時期  
**提出書類** (1)履歴書および教育研究業績リスト (研究業績は, 著書, 学術論文 (原著論文, 総説・解説), その他に分類し, 査読の有無を明記) (本学指定のもの) 各1部, (2)研究業績のうち主な著書・論文等 (5編以内, コピー可), (3)研究と教育に対する抱負 (800字程度, ワープロ可, 署名入り)  
**応募締切** 2012年5月31日 (必着)  
**送付先** 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学理工学部長室  
**照会先** 電気電子工学系代表 水野文夫 E-mail:mizuno@ee.meisei-u.ac.jp Tel(042)591-7157  
**その他** 詳細は本学 Web ページ「教職員募集」 (<http://www.meisei-u.ac.jp/recruit/index.html>) をご覧ください



## ■岡山大学大学院自然科学研究科

募集人員 助教 1名  
 所属 産業創成工学専攻 計算機科学講座  
 専門分野 ライフログ処理技術、ヒューマンインタフェース、音声情報処理、データマイニング、確率統計モデリング、Web関連技術等  
 応募資格 着任時に博士の学位を有しているか取得見込みである方で、心身ともに健康で、教育・研究に意欲的な方  
 着任時期 2012年9月1日以降のできる限り早い時期  
 提出書類 ①履歴書(様式1)、②学会および社会における活動(様式2)、③教育に関する経歴(様式3)、④研究業績概要書(様式4)、⑤研究業績リスト(様式5)、⑥主要論文別刷等、⑦推薦書2通(応募者について照会可能な方2名以上の氏名・連絡先を推薦書に代えることができます)  
 ※様式1～5は、岡山大学大学院自然科学研究科Webページ([http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html))からダウンロードしてご使用ください  
 応募締切 2012年6月1日(必着)  
 送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻 計算機科学講座  
 教員選考委員長 阿部匡伸  
 その他 詳細はWebページ(<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>)をご覧ください

## ■(独)理化学研究所情報基盤センター

募集人員 技師 1名(定年制)  
 募集職種 スーパーコンピュータやサーバのシステム設計(HPC含む)やクラウドサービスの構築と運用等  
 専門分野 計算機科学、計算科学、情報通信  
 応募資格 コンピュータやサーバ、ネットワーク、クラウドサービス等の知識を十分に持つ方。これらの構築の経験があることが望ましい  
 着任時期 2012年10月1日以降  
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷、推薦書2通(理事長宛)、抱負  
 応募締切 2012年6月8日(必着)  
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所情報基盤センター 鈴木富男  
 E-mail:suzuki@riken.jp Tel(048)467-9396 「技師応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は返却しないことをご了承ください  
 その他 詳細はWebページ(<http://www.riken.jp/>)から採用情報を参照ください

## ■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員 助教 1名(常勤、任期5年:本学テニュアトラック制度による)  
 所属 情報システム基盤学専攻データベース学講座  
 専門分野 データベース、データ工学。とりわけ、新しい多様なデータの検索・利用や高価値化を実現する上で中心的となるデータベース分野の理論やアルゴリズムなどの諸原理について教育研究を推進できる方。たとえば、時空間データや時系列データの検索・利用や高価値創出のアルゴリズム、ユビキタス・モバイル指向のデータ工学、意外な情報や情報の品質など新しい質問回答能力の実現を扱うデータ工学、などが考えられる。また、データベース分野の主要な国内外の学会会議で中心的活動を行えることが望ましい  
 応募資格 博士学位取得後10年以内および日本語による大学院指導能力必須(その他、望ましい条件は下記の正式公募文書に掲載)  
 着任時期 2012年10月1日以降のできるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書・研究業績リスト(本学指定書式)、主要論文別刷(5編以内)、これまでの研究概要と今後の研究計画(各A4用紙2枚)、今までの教育経験と教育に関する抱負(A4用紙2枚以内)、参考となる意見を伺える方2名の氏名・連絡先等  
 応募締切 2012年6月21日(必着)  
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科 事務室  
 「データベース学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則返却しません  
 照会先 情報システム学研究科 教授 大森 匡 E-mail:omori@is.uec.ac.jp  
 その他 応募に際しては正式公募文書(<http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/pdf/fs-1203.pdf>)を必ずご覧ください  
 応募書類は本選考のみに使用し、他目的には使用しません

## ■高知工科大学情報学群

- 募集人員 教授、准教授または講師 計2名(任期5年(業績に応じて、再任や昇任が可能))
- 専門分野 ①ソフトウェア工学、情報メディア論、または②分散処理、オペレーティングシステム、データベース
- 応募資格 1) 大学院博士後期課程の研究指導が可能な業績をお持ちの方、2) 上記①または②の専門領域に関する学部・大学院での講義・実験指導が可能な方、3) これからの大学のあり方についての見識をお持ちの方、4) 情報・通信関係の博士の学位を取得している方
- 着任時期 2012年10月1日あるいはそれ以降の適当な時期
- 提出書類 (1)履歴書(A4判)欄外に「専門領域①または②」を記載すること、(2)研究業績リスト、(3)主要論文別刷(コピー可)、(4)大学等研究機関在籍者は教育・社会貢献に関する実績概要、企業等在籍者はこれまでの研究概要、(5)今後の教育・研究・社会貢献に関する抱負(A4用紙2枚程度)、(6)外部資金獲得実績、(7)推薦書1通
- 応募締切 2012年6月30日(必着)
- 送付先 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学 人事部 Tel(0887)53-1112  
「応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*提出書類は返却いたしません
- 照会先 情報学群長 坂本明雄 E-mail:sakamoto.akio@kochi-tech.ac.jp Tel(0887)53-1020 Fax(0887)57-2220
- その他 教育研究費:平均250万円/年程度、年俸制(本学規程による)  
Webページ (<http://www.info.kochi-tech.ac.jp>)をご覧ください  
書類選考の上、面接を実施します。応募いただいた書類は本公募の審査以外の目的には一切使用しません

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

#### ■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm  
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm  
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm  
\* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。  
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
\* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

#### ■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

#### ■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

#### ■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



## FIT2012 講演募集案内 第 11 回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

【会期】2012年9月4日(火)～6日(木)

【会場】法政大学 小金井キャンパス

(東京都小金井市)

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びに  
ヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会  
(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術  
フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催し  
ており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、  
従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、  
タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他  
分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致します  
ので奮って御応募下さい。

### 論文誌への道!

#### 「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、  
「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として  
電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦す  
る制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合  
わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、  
御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌へ  
の推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦  
されるためには、完成度の高い論文であることが求められ  
ます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)  
に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度  
を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決  
定致します。

#### 【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、  
**ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度にあり、以下のよ  
うにまとめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

<b>船井ベストペーパー賞</b>	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読 会議において各分野の応募総数の 5%を上限として 優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を 選定。選定された論文の中から受賞論文 <b>3 件程度</b> を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2012 会期中) にて <b>賞金 20 万円</b> を船井情報科学振興財団より贈 呈。
<b>FIT 論文賞</b>	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを 経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 <b>7 件程度</b> を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2012 会 期中)にて <b>賞金 5 万円</b> を FIT 推進委員会より贈呈。
<b>ヤングリサーチャー賞</b>	発表件数の 1.5%を上限として、2012年12月31日 現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一 般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には <b>賞金 3 万円</b> を次回の FIT2013 の表彰式にて FIT 推 進委員会より贈呈。

#### 【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2012Web サイトよりお  
願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極  
めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。  
なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講  
演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下  
さい。

#### 【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新  
しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的  
に価値のある未発表のものに限りです。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があり  
ます。

#### FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

#### FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8  
ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下  
さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一  
般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)につ  
いては、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選  
択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で  
明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、  
査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され  
FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合は  
クイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなり  
ます。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 6 ペ  
ージ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査  
読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)  
がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文とし  
て受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込  
みをお願い致します。

#### ■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2012年3月 7日(水)

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切

: 2012年4月18日(水)

査読の採否結果通知: 2012年6月22日(金)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)

: 2012年6月22日(金)

最終原稿投稿締切: 2012年7月 2日(月)

#### FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致し  
ます。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込/投稿受付開始並びに  
投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅  
くなります。

#### ■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2012年4月25日(水)

登録申込締切: 2012年5月24日(木)

最終原稿投稿締切: 2012年7月 2日(月)

#### 【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、電子情報  
通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケー  
ショングループ)と情報処理学会との研究会で進めます。各分  
野に対応する研究会は以下ようになります。

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子  
情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ、☆は情  
報処理学会を示します。

**FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募  
集となる研究会がございますので御注意下さい。**

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
  - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
  - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
  - A-3 ☆プログラミング(PRO)
  - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
  - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
  - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
  - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
  - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
  - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
  - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
  - C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)
  - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
  - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
  - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
  - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
  - C-6 ※リコンフィギュラブルシステム(RECONF)
  - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
  - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
  - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
  - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
  - E-1 ☆自然言語処理(NL)
  - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
  - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
  - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
  - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
  - F-1 ☆知能システム(ICS)
  - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
  - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
  - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
  - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
  - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
  - G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)
  - G-4 ※医用画像(MI)
  - G-5 ※身体性情報学(IEB)
- H:画像認識・メディア理解
  - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
  - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
  - I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
  - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
  - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
  - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
  - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
  - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
  - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
  - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
  - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
  - J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
  - K-1 ※教育工学(ET)
  - K-2 ※サイバーワールド(CW)
  - K-3 ※マルチメディア情報ハンディンク・エンリッチメント(EMM)
  - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
  - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
  - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
  - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
  - L-3 ☆システム評価(EVA)
  - L-4 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
  - L-5 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
  - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
  - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
  - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
  - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
  - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)

- N:教育・人文科学
  - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
  - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
  - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
  - N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)
- O:情報システム
  - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
  - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
  - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
  - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

**〔使用言語〕**

日本語または英語

**〔論文ページ数・講演時間〕**

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度  
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度  
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度  
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 3,000 円のページチャージ  
 講演時間: 1 件 20 分(発表時間 15 分, 質疑時間 5 分)

**〔講演使用機器〕**

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

**〔講演者の資格〕**

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KIISE, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/PHO, IEEE/MTT-S, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI)の個人会員に限りま。
非会員	上記の学会会員以外の方。

**〔講演参加費(税込み)〕**

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

**〔エキストラページ費用(税込み)〕**

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページ当り 3,000 円

**〔別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込み)〕**

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 20,000 円となります。

**〔講演者予稿分冊頒布〕**

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り、8,000 円で、講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、団体購入の場合 15,000 円となります。

**〔最新情報確認のお願い〕**

FIT2012 に関する最新情報は、FIT2012Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

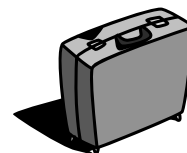
情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

### 1. 募集対象

- 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
- a) 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
  - b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



### 3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 3) 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆のご案内 / 書評・会議レポート」(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>)を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

### 5. 照会／応募先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

## IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本学会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約9,000通（原則毎週月曜日配信）
- 読者層：本学会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）  
フッタ（本文の最下行）
- 掲載料：ヘッダ：1回52,500円（税込）  
フッタ：1回21,000円（税込）  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]  
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13:00～17:00  
会場：○○コンベンションセンター  
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。  
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

# 電子版「情報処理」 販売中!!

IT分野のスペシャリストによる  
特集記事、実務に役立つ解説記事が満載!

- WebブラウザとFlash Player 10以降があれば閲覧することができます。
- 非会員の方でも購入できます。
- Fujisan.co.jpで販売しています。

一部売り 1,680円(税込)  
年間購読 18,144円(税込)



- 表紙から最後のページまでまるごと1冊読むことができます。
- 印刷することもできます。

▶ Fujisan.co.jp (「情報処理」購入ページ)

<http://www.fujisan.co.jp/magazine/1377>

▶ amazonでも販売を開始しました! <http://www.amazon.co.jp/>



詳細/お問合せは

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

# 会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



# Journal of Information Processing

## CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2013 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。  
対象は 2013 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。  
このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 [http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms\\_side.html](http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html)

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。  
また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。  
<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。  
<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: [editt@ipsj.or.jp](mailto:editt@ipsj.or.jp)

## 個人会員優待サービス

個人会員（正会員・名誉会員・終身会員・学生会員）の皆様にご利用いただける各種優待サービスをご案内いたします。  
詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html>

### ■ホテル 【割引率 10～53%】

| JR ホテルグループ | グランビスタ ホテル&リゾート | サンルートホテルチェーン | ダイワロイアルホテルズ | 東急ホテルズ | 阪急阪神第一ホテルグループ | ホテル法華クラブ | プリンسホテル | 都ホテルズ&リゾート | FUJIYAMA 倶楽部 | ウィークリーマンション東京 |

### ■レンタカー 【割引率 10～51%】

| ニッポンレンタカー | 日産レンタカー | マツダレンタカー |

### ■パック旅行 【割引率 2～5%】

| (株) 日本旅行 | 近畿日本ツーリスト (株) | トップツアー (株) | 京王観光 (株) |

### ■その他

| UC 丸善アカデミックカード | (株) パーシティウェブ | デスカット |



# 日本の コンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編  
A5判・388頁 定価7980円(本体7600円+税)

The History of Japanese Computers

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



## 【編集委員会】

委員長：発田 弘(前沖電気工業株式会社)

幹 事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)

委 員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

## 【目 次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
- 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
- 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
- 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
- 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
- 第6章 その後の進展と今後の展望  
年表・年譜

## 「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当  
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,182円**

\*学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

### 記入欄

#### ◎所属学会

学会名： \_\_\_\_\_ 会員 No.： \_\_\_\_\_

#### ◎購入申込冊数

購入申込冊数 \_\_\_\_\_ 冊 合計金額 \_\_\_\_\_ 円

#### ◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

○お支払い方法： 銀行 郵便振替 現金持参

○見積・納品・請求書(3枚綴り)： \_\_\_\_\_ 通 希望 請求書宛先： \_\_\_\_\_

#### ◎送付先(※は必須事項)

ご氏名\*：(漢字) \_\_\_\_\_ (カナ) \_\_\_\_\_

送付区分\*： 自宅 勤務先

ご住所\*：〒 \_\_\_\_\_

会社/学校名： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_

Tel\*： \_\_\_\_\_ Fax： \_\_\_\_\_

E-mail\*： \_\_\_\_\_

#### ◎通信欄 (要望事項等あればご記入ください)

# ご意見をお寄せください!

【5月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合 :  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号 (2012年5月号) の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]
- 巻頭コラム: 私たちがいかに恵まれているか ..... 10-1- [ ]
- 特集: CGM の現在と未来
- 1. 初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロが切り拓いた CGM 現象 ..... 10-2- [ ]
  - 2. 歌声合成の過去・現在・未来 ..... 10-3- [ ]
  - 3. 初音ミク as an interface ..... 10-4- [ ]
  - 4. ニコニコ動画の創造性 ..... 10-5- [ ]
  - 5. ニコニコ動画はいかなる点で特異なのか ..... 10-6- [ ]
- IT 好き放題: コンピュータの歴史的遺産の保存に取り組んで ..... 10-7- [ ]
- 可逆コンピューティング ..... 10-8- [ ]
- 書評: IT が守る、IT を守る ..... 10-9- [ ]
- 圧縮したまま検索 ..... 10-10- [ ]
- べた語義: コラム: 情報教育と情報技術教育 ..... 10-11- [ ]
- べた語義: 産業技術大学院大学・情報アーキテクチャ専攻の PBL ..... 10-12- [ ]
- べた語義: オープンソースを活用した専門職大学院大学におけるオブジェクト指向技術教育の紹介 ..... 10-13- [ ]
- べた語義: お大師様を訪ねて (4) 君のひとみは 10000 ボルト ..... 10-14- [ ]
- 細川茂樹 アプリ開発プロジェクト: 第 4 回 目指せ情報処理学会発の業界標準アプリ ..... 10-15- [ ]
- "I" 見聞録: ACM CoNEXT 2011 ..... 10-16- [ ]
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。  
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 ..... 11-1- [ ]
  - 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
  - 〔11-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) ..... 11-3- [ ]
    - a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
    - e) その他 (具体的に下記にご記入ください)
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から 1 つだけ選び (例: 10-8 の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]
  - 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]
  - 〔12-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) ..... 12-3- [ ]
    - a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
    - f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に下記にご記入ください)

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

〔13-1〕 CGMの現在と未来：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。  
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>	

情報処理学会誌の表紙に「初音ミク」が登場して、皆様、驚いたのではないのでしょうか。本特集「CGMの現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロの切り拓いた世界」をゲストエディタとして企画した私ですら、「表紙に初音ミクを載せましょう！」とご提案を受けたときには、「本当に載せるんですか?!」と驚きました。しかし、初音ミクは単なるキャラクタではなく、このCGM現象の象徴です。本分野の研究成果である歌声合成ソフトウェアです。近年注目を集める活発な創作活動と連鎖反応の源泉である初音ミクならば、情報処理技術が切り拓く明るい未来の象徴としても本学会誌の表紙に相応しいと考え、私も強く賛同しました。本特集を読んだ後に表紙を見れば、ご納得いただけるのではないかと思います。学会関係者の柔軟な発想と、掲載をご快諾いただいた伊藤博之社長に感謝いたします。

初音ミクについてアツくポジティブに語る大学の先生や研究者が日に日に増えているように感じます。それが、キャラクタの顔や声が好きで語っているのだと誤解を受けた場面が過去にあったかもしれませんが、このCGM現象の素晴らしさに魅了されたからこそ語っているのだということを、本特集を通じて多くの方々に知っていただければ幸いです。ニコニコ動画を研究者が絶賛する場合も同様で、動画の中身だけでなく、その先進性や現象、文化に魅了されているのです。

若い人に情報系の人気がなくなりつつある、という話を聞くことがあります。音楽情報処理や歌声情報処理、あるいは初音ミク周辺の現象を見ている限り、研究・技術への関心は高く、熱気に溢れています。私は研究成果のデモビデオをニコニコ動画に投稿することを呼びかけ、我々自身も実践中です(たとえば<http://www.nicovideo.jp/mylist/7012071/>)。それは研究成果を広く知っていただく重要性、人の記憶に残す重要性からですが、ニコニコ動画を日常的に観ている中・高・大学生にアピールできるのも大きな理由です。情報系の研究分野や職業の魅力に気付いて、動画をきっかけに将来の進路の選択肢として考え始めてもらえればと願っています。そういう意味でも、社会に開かれた学会として、近年活発に実践されている研究発表の無料ライブ動画中継を拡大する必要性は高まっていますし、そこで生き生きと楽しんでいる情報系の研究者・技術者の姿を見て、あこがれて情報系を目指す人たちが増えていくことでしょう。

最後に、第一人者として日々新たなことに挑戦する大変お忙しい日々を送る中、執筆をご快諾いただき、CGM現象の魅力と素晴らしさをさまざまな角度から分かりやすく解説いただいた執筆者の皆様、深く御礼申し上げます。本特集が明るい未来を切り拓く一助となることを心から願っています。

(後藤真孝/本特集ゲストエディタ)

### 次号(6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」コンピュータグラフィックスの新展開

写實的レンダリング/自然現象のビジュアルシミュレーション/コンピューターショナルフォトグラフィ/大量映像の分析と利用に基づく映像合成/テクスチャ合成技術の新たな応用と展開/モーションキャプチャデータの高度利用—一人の動きの編集から即応的の生成へ—/プロダクションワークフローとCG表現技術

連載：古機巡礼 / 二進伝心 / 細川茂樹 アプリ開発プロジェクト

教育コーナー：べた語義

コラム：巻頭コラム / シニアコラム：IT好き放題



広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 23,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」53巻5号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表4                       フォーラムエイト……………前付最終  
 オーム社……………表2対向                       リードエグジビション ジャパン……………同封  
 サイエンス社……………目次前
- すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

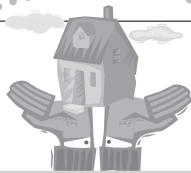
TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は  
**広告総代理店 アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (51口～)

# HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

### ●●● 賛助会員 (20～50口)

# FUJITSU

富士通 (株)

# NEC

日本電気 (株)

# MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

# TOSHIBA

(株) 東芝

# IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10～19口)

# Google

グーグル (株)

# GREE

GREE (株)

# docomo

(株) NTT ドコモ

# NTT

日本電信電話 (株)

# Microsoft

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3～9口)

# NTT DATA

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

# OKI

沖電気工業 (株)

# 楽天

楽天 (株)

# JISA

情報サービス産業協会

# ilovex

(株) アイロベックス

# uejima

(株) うえじま企画

# SANBI

三美印刷 (株)

# SONY

ソニー (株)

# Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

# Plat'Home

ぶらっとホーム (株)